



三井鉱山は事故や労働災害を続発させながら、職場で働く者の尊い命を奪っているが市民に対してもまた重なる公害をふりまいて、その生活をおびやかしている。この写真もその一つ。港務所の構内から茶褐色の汚水を流して、有明海を汚染しているのだ。

保安局申入れ

組合、坑内保安問題で

去月七日三池労組は、福岡鉱山保安監督局に対し、坑内保安の維持について、三井三池鉱業所に対する行政指導を強めるよう、申し入れた。

三池労組からは、古賀・炭労次長も加え、浦池本部書記次長、中屋、百田、沖各指導部長が、また局側からは江頭管理官、及び各担当課長、監督官が出席した。こんどの申し入れの直接的な動機となったのは、人の命が奪われる

行政指導を強めよ

見逃し得ぬ災害の続発

ほとどの重大災害が二件も重なったうえに、三池労組の執行部と保安担当者による点検の結果、依然として坑内保安に大きな不安が確認されたところによっている。

問題の第一は、宮浦鉱における中倉係長が死亡した災害だった。局としての見解は、第一に、通風管が切断され、そのまま放置されていたこと。第二に、炭鉱における新しい酸素欠乏(ガス)検査の結果、十時間

局の見解としては、「初歩的な作業手順、無謀ともいえる作業体制に問題がある」。

これに対して組合は、一、現場の働者が、三井三池山の合理化によって、保安を極度に無視してまでも働かなければならぬようにしていることが、災害多発の原因となつてゐる。二、従って局として、災害の背後にある事態を十分検討し、監督・指導を強化すること。

この配転は組合無視

三川 職場に広がる反対

いま、三川(岡田二郎)は、次のように反対の声をあげている。さき三川鉱では、私たちの反対にもかかわらず、十三期から五十期への採炭工三十名の配転を強行しました。さらに会社は、三川指導部との交渉の中で、十一月四日から、五十期右二片、十三期の採炭工を各二十五名から三十名(計七十五名)に配転するとして、問題化して、問題化しているがその点につ

新年号文芸募集

組合員・家族の皆さん。もしも、新年号みいけを創るの、CO患者を守る会をりましょう。員の方へ。たいま本紙は、新年特集号のための文芸募集を行なっています。募集内容は次の通りです。皆さん積極的に応募してください。皆さんの創作で、豊かで、心強く、頼りな

新年号文芸募集

詩・短歌・俳句・川柳 題自由。一人五編(句)以内。 姿見 主婦に限る。千字以内。 郷土の専門作家。締切りはきたる十八日限り。右のほかもかまいません。薄謝進呈。

短歌会余聞

気性(色)について

文協短歌部 木村 守

「とわに十人十色」といふのが、このわざとに似たもので、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、と、十の歴史をたしかめ合ひながら、統一と団結を求め、歩んでまいりたいと存じます。

自分の過去を見て

しみじみ思うこと

港務新港分会 一主婦

「うちは何でも、主人のいう通りです。選挙も、主人のいう人に投票します。会社にお世話になってますので、その内いかに話すでしょう。主人に食わせてもらっているから、反対できません」



豆ニユース

総選挙のいよいよ公示。七〇年代をわれらのものとするため、ガンバロー。